あぶくたったにえたった

尊敬・公平

キーワード
尊敬：自分も友だちも大切な一人ひとり（自己肯定感・他者への尊敬）
公平：対等な関係

ねらい

やりとりの楽しさやイメージをふくらませる楽しさを感じ、子ども同士の活動を通した共感や協力する力を育む

対象	おおむね１歳半～３歳（10人～ 15人くらい、おとなも一緒に）
所要時間	15分～ 20分程度
準備するもの	なし

やってみよう

こんな場面で

・やりとりする遊びを楽しみたい時。
・子ども自身に「あー楽しかった！」と遊びの楽しさを感じて欲しい時。

遊び・活動への誘いかけ

①「おいでー」と子どもたちを集めます。
②「さあ、今からおもしろいことしてみようか？お友だちと手をつないでまあるくなろう」と声をかけ、みんなで輪を作ります（おとなも一緒に）。
③「私はお豆さんになってここに（真ん中に）いるから、みんなはそのまわりをまわって歌ってね」

進め方

①♪あーぶくたった煮えたった、煮えたかどうだか食べてみよ♪
歌に合わせて輪になって手をつなぎ、豆のまわりをぐるぐる回る。
※豆を煮るイメージでスタートする。
②ムシャムシャムシャ
豆のところに集まり、むしゃむしゃと食べるまねをする。
③豆：「まだ煮えない」と言う。
④①～③を３回繰り返す（３回目は豆が「もう煮えた」と言う）。
⑤「お家に帰って戸棚に入れて、鍵をかけてがちゃがちゃがちゃ」「ご飯を食べてむしゃむしゃむしゃ」「お風呂に入ってゴシゴシゴシ」「おふとんしいて寝ーましょ」
違う場所（お家）へ移動し、家に入って鍵をかけるまね、ご飯を食べるまね、体を洗うまね、ふとんをしいて寝るまねをする。
※豆だった人が鬼になります。
⑥鬼（豆だった人）：「トントントン」
鬼が家にやってきて戸をたたくまねをする。
⑦みんな：「何の音？」と鬼に聞く。
⑧鬼：「時計の音」（風の音・車の音・電車の音などで繰り返す）。
⑨みんな：「あー良かった！」
⑥～⑨を何回か繰り返す。
（最後に）
⑩鬼：「トントントン」
⑪みんな：「何の音？」と鬼に聞く。
⑫鬼：「おばけの音！」といったらみんなは逃げる。
⑬鬼に捕まった子が次の鬼になる。

※はじめは、鬼以外にもおとなが入って一緒に歌いながら回りましょう
※歌は、「かごめかごめ」「なべなべ」などのわらべうた風に自由に

ポイント

★おとなが豆(鬼)役になり真ん中へいくと、「僕も」「私も」と一緒にしたがる子もあらわれますが、それもＯＫです。1歳半から2歳頃までは、おとなも一緒に鬼をするといいでしょう。
鬼は､「おばけの音」になるまで何回でも違う音（風･ラッパ･車etc･･･）を言ってもいいので､音を考えたり、やりとりを楽しんだりできます。
点線まで逃げればつかまえられないルールや必ず友だちと手をつないで逃げるというルールなど、やり方を変化させれば5～6歳まで楽しめ、「友だちと遊んで楽しかった」という充実感を子ども自らが実感できる遊びです。
★家庭でおとなと２人で遊んでもやりとりがおもしろいです。子どもも「おふろに入った音」「お湯がわいている音」など、さまざまな音を見つけて驚かせてくれます。